

2018年度第2四半期業績のご報告

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

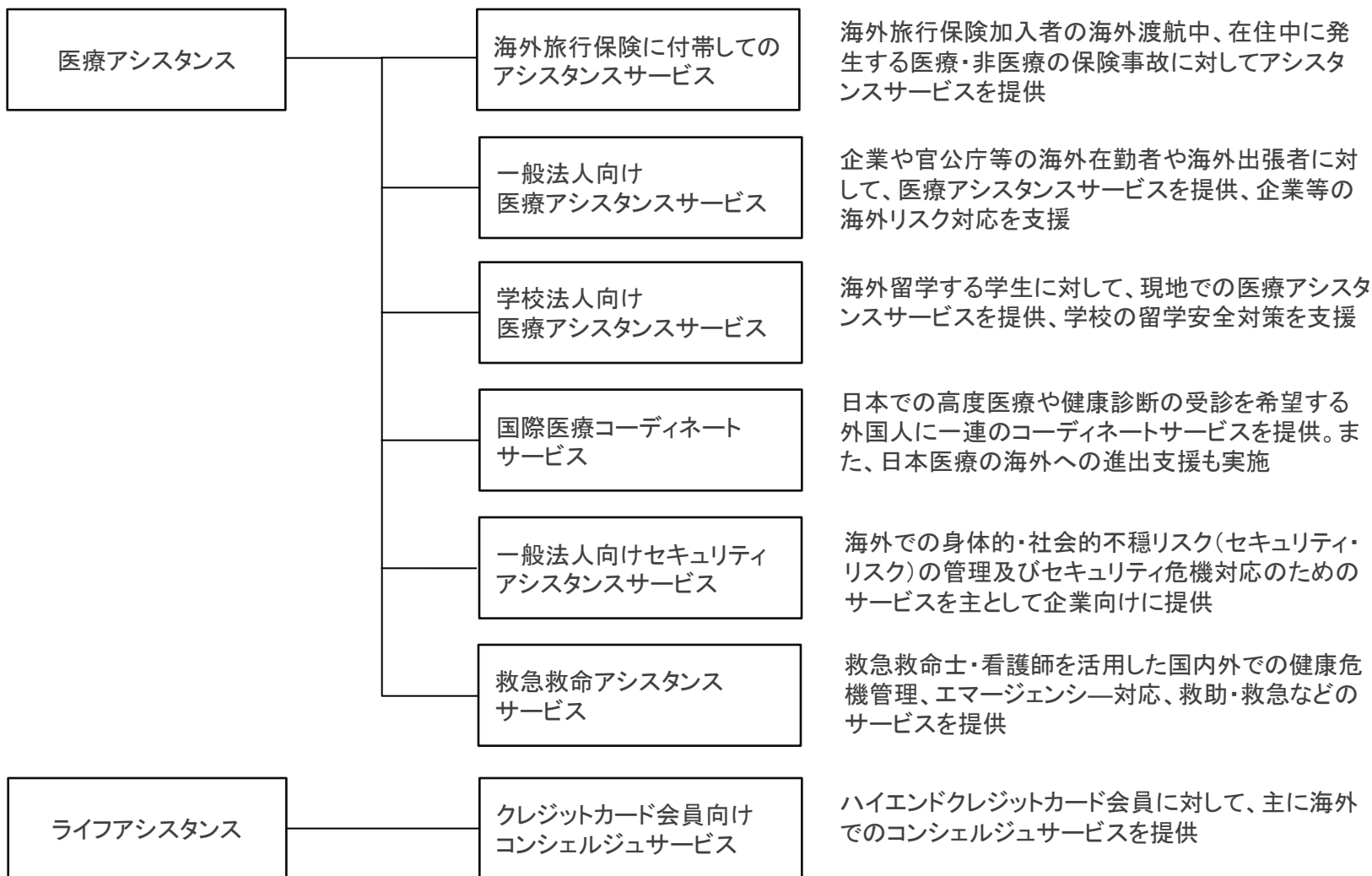
2018年8月10日

I . EAJ事業内容のご説明

当社事業

事業

展開する主なサービス概要



EAJのネットワーク網

- 7ヶ国に海外センターを配置（● 米国、中国、タイ、シンガポール、英国、フランス、バングラデシュ）
- 拠点数は全世界で12カ所、グループ要員数は310名
- 世界各国で提携関係にある約13,600件の医療機関と約2,800件の海外プロバイダーを活用しサービスを提供



※プロバイダーとは当社がアシスタンス業務において協力を依頼する機関を指します。

※数字は7月末時点のもの

Ⅱ. 2018年度第2四半期連結累計期間の決算報告

第2四半期の決算業績サマリー

- 売上高 1,391百万円(前年同期: 1,279百万円)
営業利益 72百万円(前年同期: 2百万円)
経常利益 63百万円(前年同期: △13百万円)
四半期純利益 44百万円(前年同期: △15百万円)
- 売上高は1,391百万円と前年を上回った。
 - 医療アシスタンス事業の売上高は前年比9.3%増となった。
 - ✓ 海外旅行保険の付帯サービスに関しては、海外出国者数の増加を受けて、前年同期比で10%以上のプラスとなった。
 - ✓ 法人・大学・セキュリティともに売上は順調に増加した。
 - ✓ 外国人患者受入事業も堅調。前年比売上増となった。
 - ライフアシスタンス事業の売上高は前年比で6.2%増となった。
 - ✓ 引き続き順調で、一部新規サービスの実施もあり、売上高は堅調に推移した。
 - ✓ 増大する顧客対応業務に対応するため人員採用を進め人件費も増加した。
- 費用に関しては、業務拡大に伴う要員増と設備への追加投資により増加したものの、営業利益は72百万円(前年比3,516.4%)、経常利益は63百万円(前年度 営業損失13百万円)と増益となった。

第2四半期および直近のトピックス

- **インバウンドビジネスは堅調に推移し、今後の拡大が期待される**
 - 医療ツーリズムに関しては、医療渡航支援企業としてのこれまでの実績と外国人患者受入医療機関の増加により、売上増が続いている。
 - 訪日外国人が増加するにつれて、日本の医療機関へ患者を手配するケースが増加し、緊急対応型医療アシスタンスの発生数も増加した。外国人増加に伴い、自治体等からの医療アシスタンスへの要請が多数寄せられつつある。
 - 日本企業に勤務する外国人向けのインバウンドサービス、日本の大学に留学する外国人向けのインバウンドサービスへのニーズも伸びている。
- **海外危機管理へのニーズが増大し、法人売上・大学売上が好調**
 - 国際情勢の緊迫化とともに海外における危機管理ニーズが高まりつつある。企業・法人向け医療・セキュリティアシスタンスの需要が増大し、売上が増加している。
- **ホスピタルアシストを提供開始(25ページ参照)**
 - 日本病院会から電話医療医療通訳サービスを当社が受託するとともに、オプションサービスとしてインバウンド医療コーディネイトサービス「EAIホスピタルアシスト」を提供開始する。

セグメント別業績ハイライト

- 医療アシスタンス事業は、海外旅行保険の付帯サービス含めてすべての事業が堅調であり増収であった。人と設備への投資を継続して実施したためコストは前年を上回ったが、増益であった。
- ライフアシスタンス事業は一部新規サービスの実施も順調に進み増収となり、業務量増大のため人件費コストが嵩んだものの増益となった。

(単位:百万円)

	前年同期		当期実績	
	売上高	利益	売上高	利益
医療アシスタンス事業	1,049	155	1,147	218
ライフアシスタンス事業	230	52	244	60
調整額※	-	△204	-	△206
セグメント合計	1,279	2	1,391	72

※ 調整額とは、各報告セグメントに配分していない全社費用のこと。

※ セグメント利益の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致している。

2018年第2四半期決算連結貸借対照表

- 業績が順調に推移しCFが増加したため現金及び預金が増加した。
- サービス提供金額の増大に伴い、医療機関に対する立替払いが増加している。

(単位:百万円)

	2017末 (構成比)	第2Q実績 (構成比)
資産合計	2,119 (100%)	2,267 (100%)
流動資産	1,792 (85%)	1,962 (87%)
固定資産	327 (15%)	305 (13%)
負債合計	1,369 (65%)	1,494 (66%)
流動負債	1,307 (62%)	1,440 (64%)
固定負債	61 (3%)	54 (2%)
参考:借入金残高	754 (36%)	645 (28%)
純資産合計	750 (35%)	772 (34%)

資産

- 業績が順調に推移しCFが増加したため現金及び預金が増加した
- 医療機関に対する立替金が増加した

負債

- 保険会社・法人からの前受収益が増加

純資産

- 当期純利益の増加

Ⅲ. 各種施策の取組み状況のご説明

各種施策に関する主要NEWS RELEASE

一般社団法人 日本病院会から電話による医療通訳事業を受託
併せて「EAJホスピタルアシスト」サービスを提供する契約を締結

NEWS RELEASE



2018年8月6日

各位

会社名 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田 一正
(コード番号: 6063 東京証券取引所JASDAQ)

一般社団法人 日本病院会から電話による医療通訳事業を受託 併せて「EAJホスピタルアシスト」サービスを提供する契約を締結

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社(略称:EAJ、本社:東京都文京区、代表取締役社長:吉田一正、URL:<https://emergency.co.jp/>)は、このたび、一般社団法人 日本病院会(東京都千代田区、会長:相澤 孝夫、URL:<https://www.hospital.or.jp/>)に電話での医療通訳ならびにインハウンド医療コーディネートサービス「EAJホスピタルアシスト」を提供する契約を締結しましたのでお知らせします。

日本病院会は厚生労働省から「平成30年度 団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業」の事業実施者として選定され、当社が日本病院会の電話医療通訳サービス提供事業者となりました。外国人患者およびその関係者が、医療機関において治療または検査を受ける際の電話での医療通訳サービス(24時間365日 15言語対応)を、当社が日本病院会会員病院に対して提供いたします。

また、電話医療通訳だけでは足りない部分についてオプションサービスとして以下のインハウンド医療コーディネートサービス「EAJホスピタルアシスト」を提供いたします。

- 医療機関と外国人患者のコーディネート業務(情報収集、スクリーニング、確認調整)
外国人患者が傷病等により医療施設において治療または検査を受ける際に必要となる情報の収集および整理をして医療施設と共有し、外国人患者等からの問い合わせに対する情報や助言を提供。
- 海外保険会社への代位請求・事務代行業務
海外保険会社等との間で治療費の支払交渉、送金依頼、受領等の保険金の代位請求業務および様々の問い合わせへの対応、確認、連絡等の事務代行業務を実施。
- 未払医療費の回収代行業務
外国人患者が会員病院に対して医療費を支払わない場合に、支払督促を行い、回収を代行。
- 一定の条件での医療費の支払保証・立替払い業務(オプションサービス)
会員病院が外国人患者の診療費の決済を完了することができない場合に、当社が支払保証書に記載の期間・金額等の条件内で、診療費の支払保証を行う。

投資家向け説明会を実施

- 例年実施している投資家向け説明会を8月に実施します。

1. 日 時：2018年8月21日（火） 14：30～ 16：30（開場：14：15～）
 2. 会 場：文京シビックセンター26階 「スカイホール」
東京都文京区春日1丁目16番21号
TEL：03-5803-1100
 3. <プログラム>
「E A J」の各事業の将来展開

吉田 一正 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代表取締役社長
 4. 参加費：無料
 5. 参加方法：参加ご希望の方は以下のいずれかの方法で事前に参加申し込みを
して下さいますようお願いいたします。
(1) 当社HPの「お問い合わせ」ページから「IRに関するお問い合わせ」
を選び、メール送信する。（※）
(2) メールアドレス(ir-info@emergency.co.jp)に①氏名、②連絡先TEL、
③会社名を記載してメール送信する。（※）
(3) 下記の申込用紙に必要事項を記載の上、03-3811-8159宛にFAX
送信する。
※メール本文に「投資家向け説明会参加希望」と記載してください。
- 問合せ先 03-3811-8121 管理部 IR担当 水島



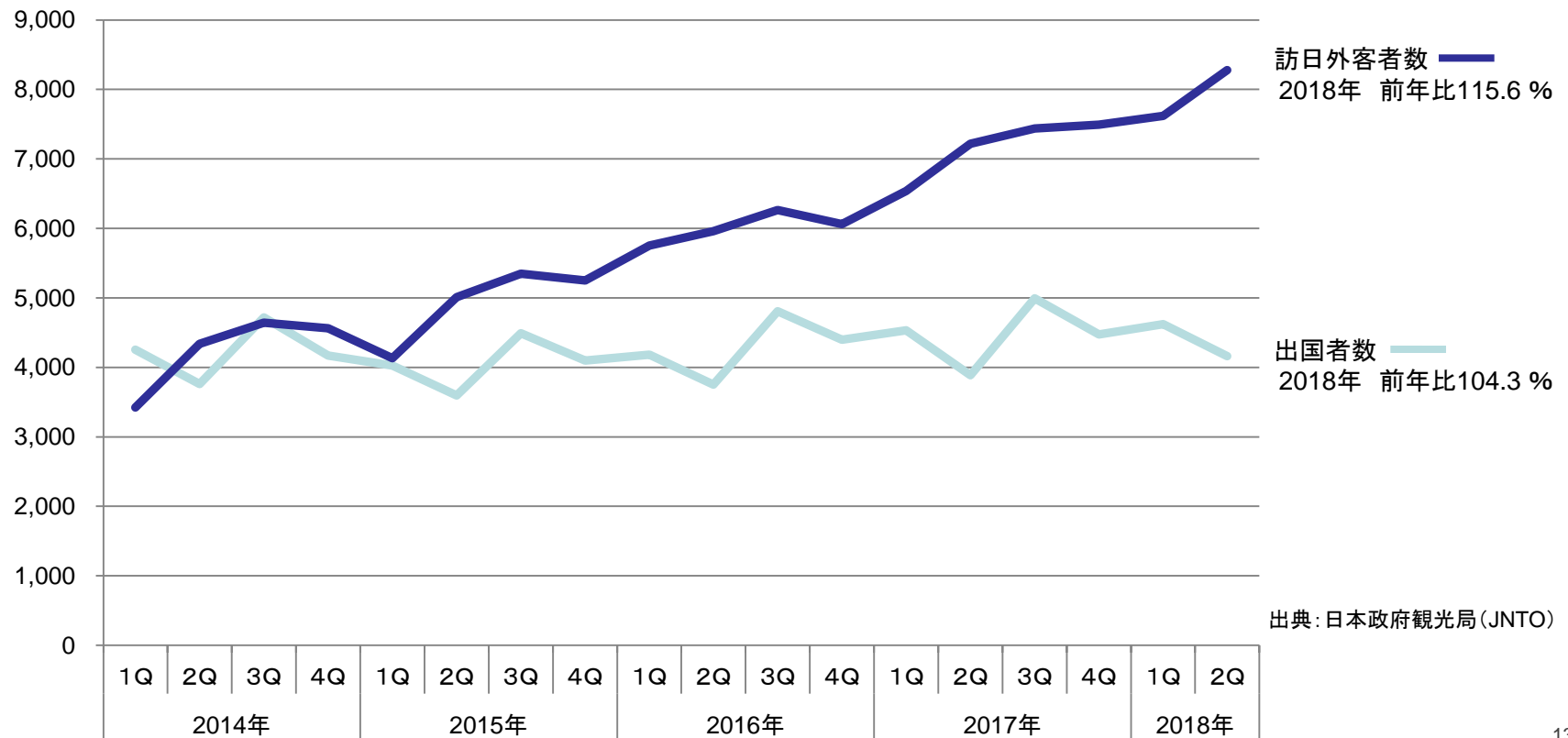
IV. 外部環境とリスクについて

海外出国者・入国者数の推移

- 海外出国者数は継続的に増加、訪日外客数は引き続き大幅に増加しており、当社の外部環境は良好な状態が継続している。
 - ▶ 海外出国者数は増加し、2018年第2四半期累計値は前年同期比4.3%増であった。
 - ▶ 海外から訪日外客数も堅調で2018年第2四半期累計値は前年同期比15.6%増であった。

単位：千人

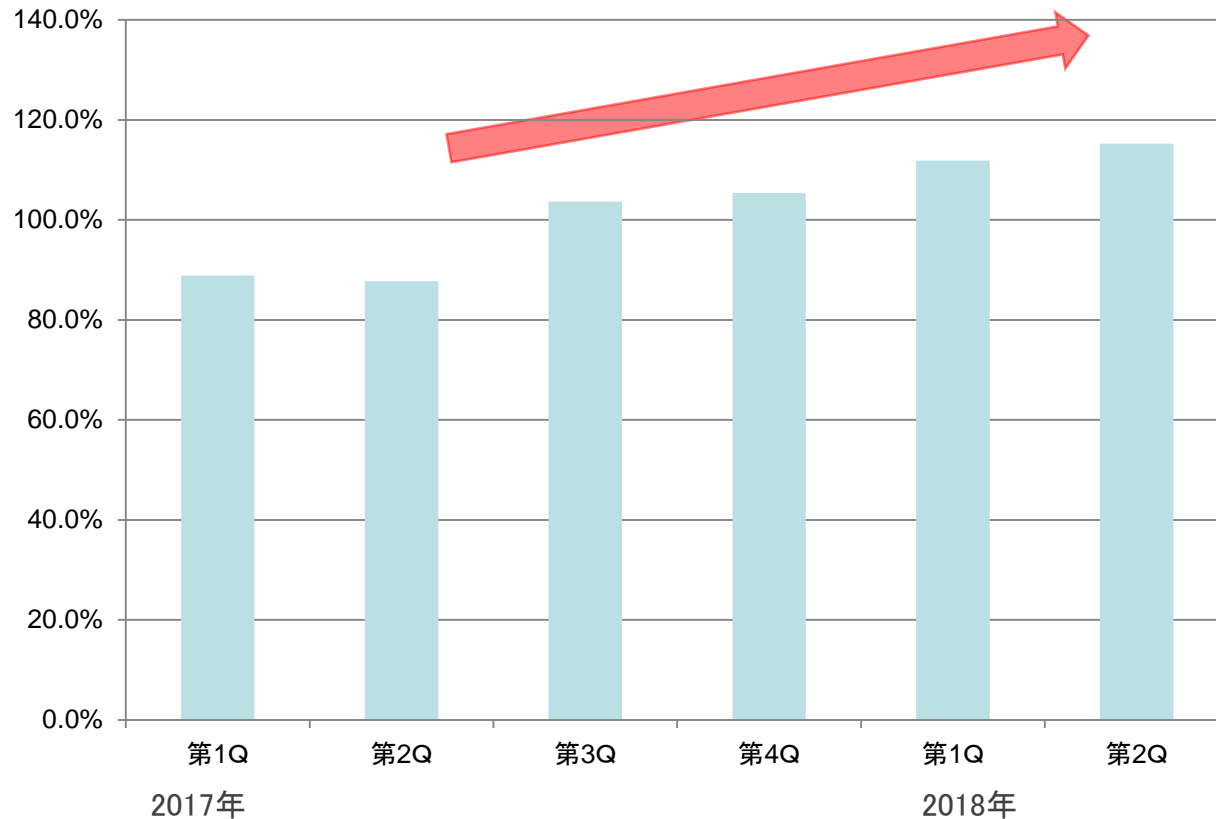
出国者数及び訪日外客数の推移



海外旅行保険付帯サービスは回復・拡大

- 海外旅行保険付帯サービスに関しては、海外出国者数の増加という好環境にも恵まれて、第2四半期の売上が前年同期比で10%以上のプラスとなった。

ケース売上前年同期比



第2Qも前年同期比で110%を超えた

法人・大学売上は好調を継続

- 海外危機管理の必要性の高まり、及び当社ビジネスに対する認知度向上により法人・大学向けアシスタンス売上は堅調に推移している。
- 当社の強みとして海外拠点に当社社員が駐在してアシスタンスをフォローする点と日本の医療者を医療搬送等で有事の際に海外に送り出すことができる点が挙げられる。

海外医療メンバーズサイトを増々拡充



ニュース | 当サイトについて | 医療機関検索 | 予防接種 | 現地で注意すべき病気 | 現地医療事情

TOP > 川合医師Q&A一覧 > 海外渡航前の小児予防接種について

海外渡航前の小児予防接種について

07月20日 **小児予防接種**

【質問】

子供を連れて海外に赴任することになりました。まだ6歳なので日本で必要な予防接種が受け終わっていません。接種がすべて終わってから海外に行った方がいいですか?それとも受けなくて海外に行った方がいいのでしょうか。予防接種が遅れたり不足したりして、学校への転入に支障がないか心配しています。

【川合医師回答】

渡航前までに間に合うものは日本で接種してから渡航されることをお勧めします。渡航後は現地で予防接種を受ければ、学校への転入は問題ありません。現地の小児と時期がずれても予防接種を受けることはできます。現地医療機関には、母子手帳などの予防接種の記録と、その英訳したもの*を持参ください。

ただし国や地域によっては、小児予防接種の制度化・実施が不十分な場合や、薬剤自体が信頼できない場合があります。不安な場合は渡航前にご所属企業の担当者様経由で当社営業担当までお問い合わせください。顧問医より回答いたします。

*当社提携の小石川インターナショナルクリニックに母子手帳のコピーを郵送、メール等でお送りいただければ、英文のMedical Certificateが10,800円(税込)で発行できます。ご希望の場合はクリニックに直接お問い合わせください。

[小石川インターナショナルクリニック お問い合わせ](#)

「川合医師Q&A一覧」より

危機管理セミナー(7月18日開催)は満員御礼

Emergency Assistance Japan 日本エマージェンシーアシスタンス(株) 海外危機管理セミナー
 <最新海外危機管理事情 -海外進出企業として取り組むべき課題と対応->

1.日 時: 2018年7月18日(水) 13:30~17:00 (開場: 13:00~)

2.会 場: **主婦会館プラザエフ** 【7F】カトレアの間
 東京都千代田区六番町15 (JR/地下鉄 四ツ谷駅 麹町口より徒歩1分)
 ※裏面地図参照

3.プログラム: **第1部 「海外での安全確保 ~政府の取り組みと皆様へのお願い~」**

講師: **吉田 泰朗 氏**
 外務省領事局邦人テロ対策室 主査

<講演概要>
 近年、日本企業の海外への進出が加速し、企業関係者が海外に渡航・滞在する機会が増加する一方で、日本人がテロをはじめとする凶悪な事件や、一般犯罪、災害等に遭遇する危険性が高まっています。そうした状況を踏まえて、海外進出企業の安全対策に関して、外務省が作成した「ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル」なども活用しながら、企業が平時及び緊急事態発生時におけるべき対応策について講演を行います。

第2部 「海外赴任者のメンタルヘルスと支え方」

講師: **勝田 吉彰 氏**
 関西福祉大学 教授 医学博士 労働衛生コンサルタント

<講演概要>
 国内のみならず海外渡航者にも対応が求められるメンタルヘルスケアについて、家族も含め海外赴任者に対してどのようなケアが必要なのか、また、会社としてメンタル面のサポートを制度化するにあたりどのような点に留意すべきか、海外特有の事象交えて講演いたします。

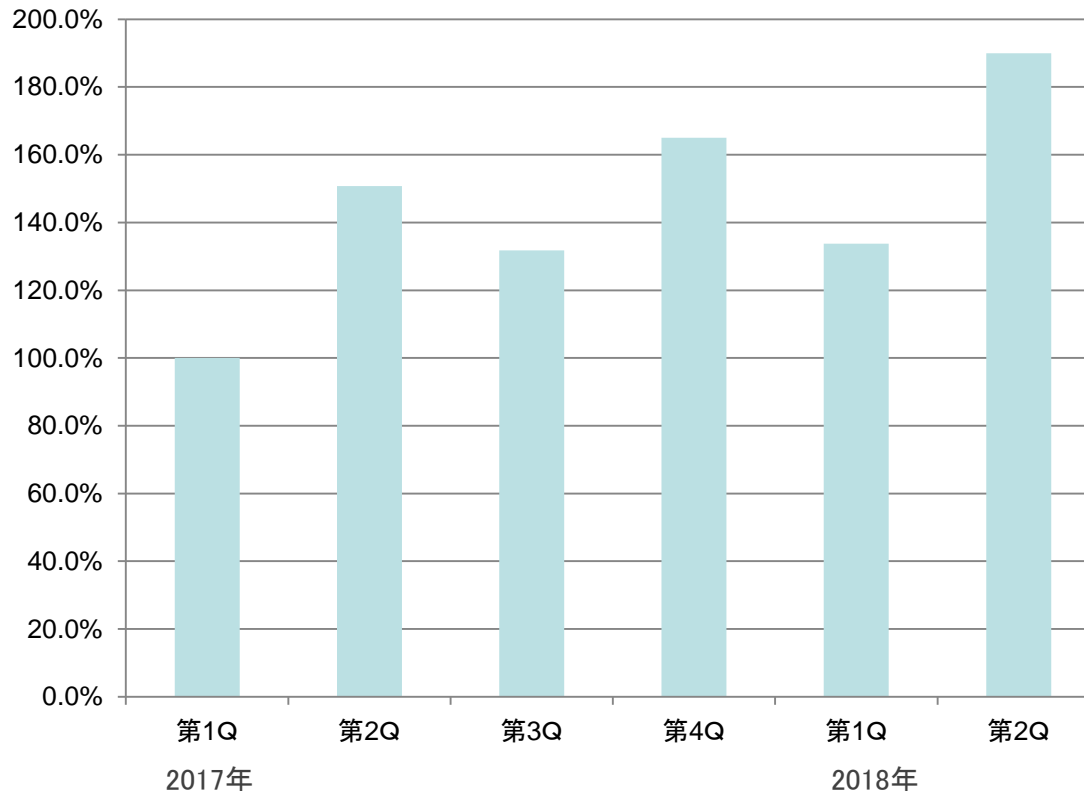
インフォメーション
 「E A J 海外医療/セキュリティアシスタンスサービスの紹介」

4.参加費: **無料** (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

インバウンドサービスは堅調に推移

- 医療ツーリズム売上は堅調に推移している。
- 医療ツーリズムの課題は日本の高度医療の認知度の低さにあるが、地道なプロモーション活動(現地セミナー、ネット情報等)が成果を上げつつある。
- 中国オフィスでの活発な営業活動、Wechat等のSNSツールによる広告宣伝も実施。

医療ツーリズムの伸び率推移



医療ツーリズム売上は季節的な変動はあるものの、堅調に推移している。

※2017年第1Qの数字を100とした場合の伸び率推移

インバウンドサービスは堅調に推移

- インバウンドサービスとして日本で外国人従業員を雇用している企業、日本への外国人留学生を受入れている大学からのニーズなども増加している。
- 訪日外国人への緊急対応型医療アシスタンスは堅調であり、訪日外国人の増加とともに増加するニーズにしっかり対応するため、官公庁・保険会社等と様々な施策を検討している。

インバウンドの種類	ケース	当社の対応
医療ツーリズム (高度医療受診の紹介)	高度先進医療の受診 ・がん粒子線治療 ・内視鏡 ・循環器、再生医療 ・人間ドッグ 等	・医療機関コンサルテーション ・来日から帰国までのアレンジメント ・医療滞在ビザの取得サービス ・24時間365日のコールセンターサービス ・通訳・翻訳、支払代行サービス
訪日・在日外国人への緊急 対応型医療アシスタンス	訪日外国人が病気や怪我をした場合	・約1,000件の国内医療機関から適切な医療機関を紹介 ・通訳・翻訳、支払代行サービス ・患者情報収集・保険請求サポート ・搬送・その他専門サービスの手配
その他インバウンドサービス	・日本企業に勤務する外国人従業員向けサービス ・日本の大学への外国人留学生に対するサービス	同上

V. 2018年業績予想について

2018年の業績予想について

- 通期の連結業績予想については、下期は上期同様の事業環境が続くと考えられ、平成30年7月25日に業績予想の修正を行った。
- 費用に関しては海外センターの増強やセキュリティ情報サービスでのAI活用などへの高水準の投資を予定している。
- 2018年業績予想と前期実績を比較すると、売上高は11%増、営業利益は85.5%増、経常利益は163.2%増となる。

2018年業績予想と前期実績との比較

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前期実績(A) (平成29年12月期)	2,567	62	38	25	10.25
2018年予想(B)	2,850	115	100	69	27.92
増減額(B-A)	283	53	62	44	
増減率(%)	11.0%	85.5%	163.2%	176.0%	

VI. BtoB ビジネスの展開について

EAJのビジネスモデルと強み

ビジネスモデル

- **医療搬送に強みを持ち、医療アシスタンスの全領域をカバー**
海外で病気や怪我をした患者様からの電話の受付、医療機関紹介から搬送までワンストップで実施する会社は日本企業では当社だけである。
- **セキュリティ事業も充実、医療とセットで海外リスクマネジメントを実施**
全世界でセキュリティアシスタンスを提供。医療とセキュリティの総合リスク管理サービスを提供。海外進出する企業にとって当社サービスは必須のソフトである。
- **インバウンド(外国人患者受入)事業のリーディングカンパニー**
外国人患者受入で業界でも主導的地位を保持し(医療ビザ申請第1号企業)、医療渡航支援企業に国内で初めて認証されている。
- **日本医療の国際化に貢献**
インバウンド・アウトバウンド両方向の医療関連事業の展開を通じて、日本医療の真の国際化に貢献する。

独自性/強み

- **高い新規参入障壁**
新規参入時に医療機関ネットワーク網の構築、バイリンガルのコーディネーター等優秀な人材の獲得・教育が必要であり、多額の初期投資がかかる。
また、セキュリティ事業構築には独自の人的コネクションが必要である。
- **サービス品質の高さ**
複数の言語を話し、保険と医療に詳しい日本人スタッフを多く擁し、日本人ならではのきめ細かいサービスを日本語で提供。
- **独自性**
日本資本で唯一アシスタンス事業を専業とし、世界規模でサービスを提供。
また、上場している(東証JASDAQ)アシスタンス会社は世界でも稀である。

EAJのアシスタンスサービスを代表する3つのプロダクト

● EAJコーポレートアシスト(+※OSSMA)

- 法人・学校法人向けサービス
- 法人・学校法人会員に対して海外での医療機関受診手配、受診時の言語面でのサポート、医療費用の支払代行、医療搬送の手配など様々な支援を行う、医療支援を含めた危機管理・対応に関する海外医療アシスタンスサービスを提供。

● EAJプロジェクトアシスト

- 法人向けサービス
- 救急救命士または看護師が現地プラント・僻地サイトに常駐し、顧問医と連携しつつ現地医療体制を構築する。緊急時の救急対応に加え、日常の健康見守りを実施することにより、傷病の発生を未然に防止するプロジェクト型の救急救命アシスタンスサービスを提供。

● EAJホスピタルアシスト

- 国内の医療機関、自治体向けインバウンドサービス
- EAJのアシスタンス経験豊富な医療コーディネーターが医療機関と外国人患者との間のコーディネートや海外保険会社等への代位請求・事務代行業務、未払医療費の回収代行業務を提供



EAJの医療機関とのネットワーク、24時間365日対応の多言語対応のコーディネーター、動員可能な医師・看護師・救急救命士、16年続けてきたサービスノウハウを生かして高度なアシスタンスサービスを提供。

※OSSMAは危機予防から重大事故発生対応まで、学校の留学生派遣をトータルにサポートし、学校、留学生、保護者様に留学生派遣に関わる全てのリスクマネジメントを提供する商品です。

EAJプロジェクトアシスト

- 特徴①緊急時のファーストエイド
 - 傷病等の発生時、適切な救急対応および救急搬送エスコートを実施する。
- 特徴②日常の健康見守り
 - 日常での健康見守りにより傷病の発生を未然に防止、予防を強力にサポートする。
- 特徴③日本人医師による病状評価
 - 24時間365日オンコールでEAJ日本人顧問医による病状の精査、評価する。

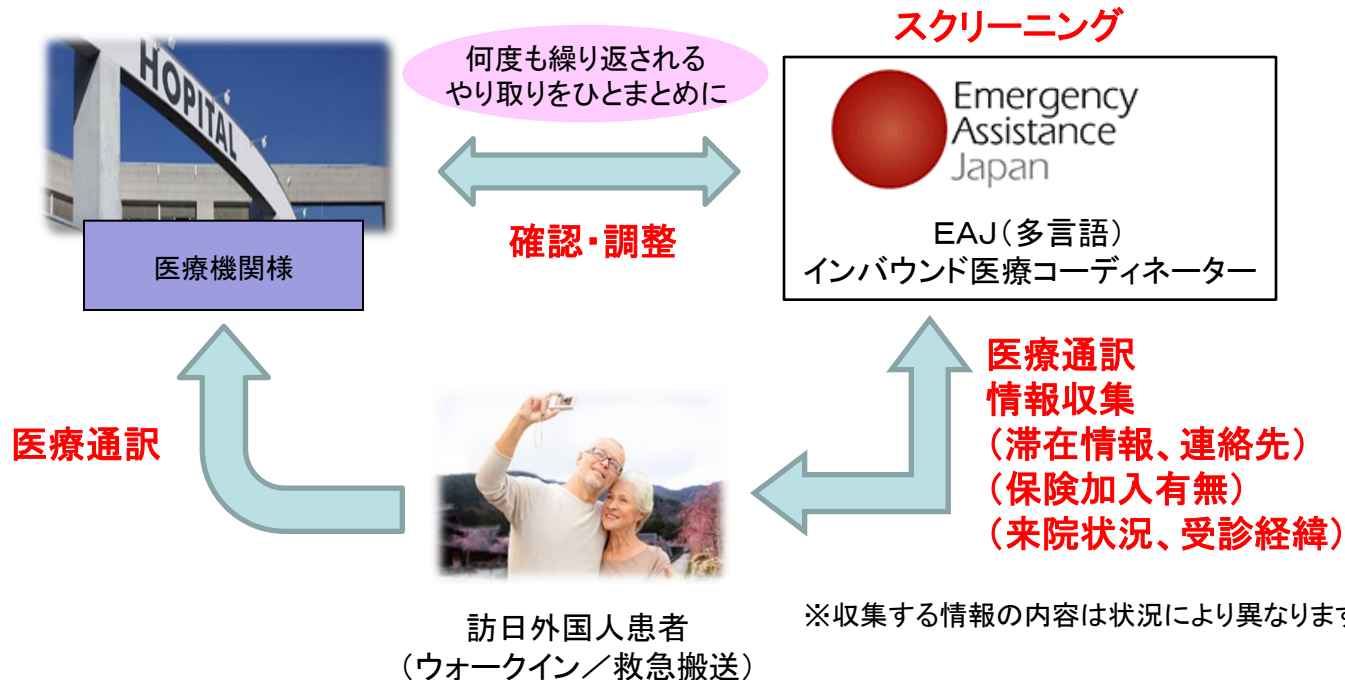
【プロジェクト型 救急救命アシスタンスサービスのイメージ】



EAJホスピタルアシスト

- **特徴① 医療機関と外国人患者のコーディネート業務**
 - 外国人患者の受診時の医療通訳に加えて、必要な情報の収集・整理をして医療機関に提供するとともに、外国人患者に情報・助言を提供する。
- **特徴② 海外保険会社への代位請求・事務代行業務**
 - 海外保険会社等との間で外国人患者の治療費の支払交渉、送金依頼、受領等の保険金の代位請求業務および各種問い合わせへの対応、確認、連絡等の事務代行業務を実施。
- **特徴③ 未払医療費の回収代行**
 - 外国人患者が会員病院に対して医療費を支払わない場合に、支払督促を行い、回収を代行。

【インバウンド医療コーディネートサービスのイメージ】



アシスタンスで お客様の世界を広げる

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、為替変動、国内外の事業に影響を与える政府の法規制といった国内及び国際的な経済状況などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

Copyright ©Emergency Assistance Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社